



2026年4月16日

各報道機関 御中

「ひなた学び塾」2026年度第2期を開設いたします ～ 錦本町ひなたキャンパスではじまるリカレント教育講座 ～

学び・学生支援機構は、錦本町ひなたキャンパスにおいて「ひなた学び塾」の2026年度第2期の2講座を開講することになりましたのでお知らせいたします。

「ひなた学び塾」では大学の授業を体験することができます。高校生以上であればどなたでも受講できます。

これからの社会を生き抜くには、知識だけでは十分ではありません。それを使いこなす力が必要となります。

宮崎大学では一度学んだことを対話によって別の角度から眺めるという学習を積極的に授業に採り入れてきました。教員との対話、学生同士の対話をととして学生は新しい考え方に気づき、それによって知識を使いこなす力のバリエーションが広がります。

「ひなた学び塾」では多くの皆様にこの体験を提供することを目指しています。

2026年度は現在全7講座の開講を予定しております。

つきましては、「ひなた学び塾」の取材について検討いただきますようお願いいたします。

[第2期 第1講座]

日時:2026年6月17日水曜日開講 全8回

開講日6月17日、24日、7月1日、8日、15日、22日、29日、8月5日

時間:15:30～17:00

内容:「植物」を学びなおそう

講師:ハッ橋 寛子(宮崎大学名誉教授)

場所:錦本町ひなたキャンパス(宮崎市錦本町4-5) 対面のみ

受講料:15,000円(8回分)

詳細:別紙のとおりとなります

[第2期 第2講座]

日時:2026年6月17日水曜日開講 全8回

開講日6月17日、24日、7月1日、8日、15日、22日、29日、8月5日

時間:18:00～19:30

内容:古墳時代の南九州

講師:柳沢 一男(宮崎大学名誉教授)

場所:錦本町ひなたキャンパス(宮崎市錦本町4-5)及びオンライン講義

受講料:15,000円(8回分)

詳細:別紙のとおりとなります

問い合わせ先・取材申込先

学び・学生支援機構 総合知教育企画部門

E-mail: sogochi@miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-58-7238

発信元

企画総務部総務広報課

E-mail: kouhou@miyazaki-u.ac.jp

TEL:0985-58-7114

開講科目①



宮崎大学 ひなた学び塾2026年第2期

「植物」を学びなおそう

2026年6月17日(水) 開講15:30~17:00 (全8回)


講師：八ツ橋寛子(宮崎大学名誉教授)

対象：社会人・大学生

定員：40名 ZOOMによる同時配信なし。

受講料：15,000円 後日オンデマンドで見直していただくことができます。

会場：錦本町ひなたキャンパス(宮崎市錦本町4-5)

お申込：  下記、いずれかの方法でお申し込みをお願いします。

①左のQRコードから

②右のフォームから→ [お申し込みフォーム](#)

講師メッセージ

小学校、中学校、高校と理科や生物で、「動物」と並んで「植物」について習ったと思います。しかし、そもそも「植物」とはどのような生物なのでしょう。実は、植物の定義はひとつではありません。

近年、分子生物学の発展に伴って、生物の分類法は大きく見直されています。この講座では、生物界全体の大きな仲間分け(大分類)の変遷を概観した後、大昔の地球で起こった原核生物(細胞に核構造のない生物)から真核生物(細胞核のある生物)への進化の道筋をたどりながら、「植物」とは何かを考えます。

そして、陸上に進出した植物が、どのように進化してきたのか、彼らの体の構造や一生の過ごし方(生活環)から見ていきたいと思います。後半では、身近な植物の体のつくりをじっくり観察する簡単な実習を交え、現在の陸上でもっとも繁栄している被子植物(花を作る植物)について深掘りします。最後に、宮崎大学の私の研究室で行われた学生さんたちの研究を紹介し、植物の意外な能力を知っていただきたいと思います。

一般に動物に比べ、関心が高いとはいえ植物ですが、この講座を通じて、少し見直していただければ幸いです。



講師略歴

神奈川県出身

1985年宮崎大学教育学部(生物学講座)着任 2023年宮崎大学名誉教授

理学博士 専門 植物生理学(特に種子の光環境応答など光生理学)

宮崎県自然環境保全審議会委員、宮崎県博物館協議会会長

スケジュールと講義内容

第1回(6月17日)

生物界を分類する：生物のほとんどは動物でも植物でもない

第2回(6月24日)

真核生物の誕生：ハイテクベンチャー企業「シアノバクテリア」「好気性細菌」の出現、そして吸収合併が起こった

第3回(7月1日)

真核生物の系統：光合成するかしないか、それが問題だった？

第4回(7月8日)

陸上への進出と陸上植物の進化：

陸上植物がなぜ緑色かは…わからない

第5回(7月15日)

陸上の覇者「被子植物」の特徴と分類：

双子葉類と単子葉類…じゃない！

第6回(7月22日)

維管束と気孔(観察)：陸上の乾燥と重力に耐えるしくみ

第7回(7月29日)

花、果実、種子(観察)：被子植物の繁栄を支えるしくみ

第8回(8月5日)

まとめに代えて：発芽しないのが種子の役目！？(研究紹介)

お問い合わせ

宮崎大学 学び・学生支援機構 (総合知教育企画部門)

受付時間 9:00~17:00(土日祝日は除く) TEL0985-58-7238

ひなた学び塾



協力：  わくわくセンター

開講科目②



宮崎大学 ひなた学び塾2026年第2期

古墳時代の南九州

日本における国家形成過程において各地に築造された墳墓等を題材に、南九州（宮崎・鹿児島県域）にみられる特性やその時代の社会の成り立ちについて考えていきます。



6月17日 開講

18:00～19:30

毎週水曜日 8回講座

講師

柳澤 一男

（宮崎大学名誉教授）



- 学習目標■
- （1）歴史を理解する方法としての考古学の見方を理解する。
 - （2）国家成立過程の日本列島の様相を理解する。
 - （3）南九州に特徴的に分布する古墳と古墳群を理解する。

スケジュールと講座内容

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| 第1回（6月17日） | 古墳時代とは？（古墳時代の考古資料からみた社会の仕組み） |
| 第2回（6月24日） | 古墳の築造と古墳群の形成からみた地域社会 |
| 第3回（7月1日） | 宮崎市・大淀川下流域の古墳群（生目古墳群と下北方古墳群） |
| 第4回（7月8日） | 西都市・一ツ瀬川右岸の古墳群（西都原古墳群） |
| 第5回（7月15日） | 新富町・一ツ瀬川左岸の新田原古墳群と高鍋町・小丸川左岸の持田古墳群 |
| 第6回（7月22日） | 鹿児島県大隅地方の古墳と古墳群 |
| 第7回（7月29日） | 南九州独自の古墳時代埋葬施設（板石積石棺墓・地下式横穴墓） |
| 第8回（8月5日） | 九州の装飾古墳と宮崎の装飾横穴墓 |

会場 宮崎大学錦本町ひなたキャンパス ZOOM配信あり、後日オンデマンド視聴可

対象 社会人・学生

定員 40名

受講料 15,000円

お申込（いずれかの方法をお願いします）



講師略歴

群馬県出身

1973年福岡市教育委員会文化財専門職に就任

1991年宮崎大学教育学部に就任

2012年宮崎大学名誉教授

主な著書

『筑紫君磐井と「磐井の乱」(改訂版)』(2025年、新泉社)

『描かれた黄泉の世界—王塚古墳—(改訂版)』(2023年、新泉社)

①右QRコードから

②下のお申込フォームから

[お申込フォーム](#)



お問い合わせ

宮崎大学 学び・学生支援機構 (総合知教育企画部門)

受付時間9:00～17:00 (土日祝日は除く) TEL0985-58-7238

協力: [W わくわくセンター](#)

ひなた学び塾

